

事務事業名 観光ホスピタリティ推進事業補助金

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	2	心と体を癒す観光のまちづくり
主要な施策	2	暖かいもてなしの心の醸成
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 元 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	観光振興グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	地域ぐるみで観光客を温かくもてなすホスピタリティ精神の啓発を促進
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	登別市観光ホスピタリティ推進協議会が実施する、観光客受入のための事業に対し補助金を交付し支援する。 平成23年度事業 ・自然観察事業(地獄谷散策会) ・観光ボランティアガイド支援事業(支援事業・養成講座) ・受入環境整備事業(フラワーファンタジーロード維持管理事業・桜ロマンマイロード事業)
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	登別を訪れる観光客を温かく迎えるホスピタリティ精神の啓発を促進し、観光客の増加を促進する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	900	900	900	900	900
事業費合計			900	900	900	900	900

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	観光ボランティアガイド会活動日数	日	目標値	165	165	165	165	165
			実績値	171	181			
	観光客入込数	千人	目標値	3,100	3,100	3,100	3,100	3,100
			実績値	3,042	2,661			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
観光ボランティアガイドが地獄谷周辺のガイド活動を行っているが、高齢化等により人数が減少している。	引き続きガイド希望者の募集を行うとともに、ガイドの養成に努める。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 全市的なホスピタリティ精神の普及を図る事業であり、市が補助することは妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 訪れる観光客等を温かく迎え、ホスピタリティの啓発を促進し、誘客を図るためには必要な事業である。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 観光ボランティアガイド会の支援や受入環境整備事業等、効率的な運営ができています。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 訪れる観光客を温かく迎えるための事業を実施しており、ボランティアガイドの活用人数も多いことから成果は上がっていると考える。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	全市的にホスピタリティ精神の普及を図り、訪れる観光客等を温かく迎え、ホスピタリティの啓発を促進し、観光振興を図るために当該事業を継続する必要がある。
-----------	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
-----------	----	--